MIDLAND®

Bike Life Revolution

バイクライフレボリューション

ミッドランドのインカムで、喋って楽しくツーリング？　いえいえ、今回も立派なテストです。「通信距離無制限」が魅力のアプリ「BTトーク」を使いこなすと、遠く離れたふたりでもバッチリ会話ができたようで…。

BT TALK 実践編！

●取材協力：LINKS　☎075-708-2362
●まとめ：八尾山ゆーすけ　●写真：柴田直之

ライター
八百山ゆーすけ

編集
ホリグチ

仕事柄、そして担当ということもあって、インカムの存在そのものは知ってはいるものの、実はリアルな体験は数少ないインカムビギナー。今回の企画に「スマホでもいいんじゃないスか」と言い放った人。

バイクよりインカムの記事を書くことが圧倒的に多い異色のバイクライター。インカムに限らずカメラ、ナビなど、内燃機関のバイクとは対極にあるようなエレキと雑学にやたら精通した人。

トランシーバー感覚のスタイルが新鮮で

ホリグチ：いやー、この仕事やっていて今さら言うのもナンですが、インカム使って走ると、バイクの楽しみ方が変わってきますね。

八百山：それってホント、今さらだよね（笑）。走りながら会話できると、〝飛ばしたい〟とか〝攻めたい〟なんて気にならなくなる。ナンなら渋滞にはまっても、仲間との話で気がまぎれるもんね。

ホリグチ：音楽聴きながら話せるってのもいいですね。それに音が思っていたより断然いいし。

八百山：ボクが今さらながら感心したのは、やはりBTトークだなぁ。こういうインターネット経由の通話アプリって、声が相手に届くのが遅れて会話しづらいイメージがあった。でも、BTトークはトランシーバーのようにBTボタンを押しながら交互に会話するから、実はこの遅延がまったく気にならないことは大発見だったよ。

ホリグチ：ボタンを押して話している時と聞いている時で、アプリ上のボタンの縁の色が変わったり、話し始めと終わりに〝ピロピロ〟って音がするのもわかりやすいです。なにより、インターカムモードと同じように音がいいのにも驚きました。

八百山：もうひとつ便利だと思ったのはマップ表示だね。地図上で相手の位置がわかるのって、現地集合&解散ツーリングなんかで重宝しそう。メンバーが離れても自動的に地図の縮尺が変わって常に一画面に収めてくれるといったアプリの作り込にも感心したよ。

ホリグチ：トランシーバーみたいに話すスタイルや、地図で相手の位置がわかるなんてなんかゲーム感覚で、ツーリングに別の楽しみが加わった感じですね。

八百山：だからといっていつもBTトークを使えばいいってもんじゃない。お互いが見える範囲ならインターカムモードがやはり会話が自然でいいと思う。

ホリグチ：両方を状況に応じて使い分ければいいってことですね。

八百山：そう。ツーリングの集合前からBTトークを使うルールにしておくと、遅れて来る人の動向も地図で把握できるしね。

ホリグチ：寝坊できないなぁ…。

BTトークをシーン毎に実践、工夫次第で楽しみが広がる！

インカムモードでスタート

AM9:00

途中まで二人は一緒に走るので、まずは「インターカムモード」で会話。2台をペアリングすれば、あとは登録したボタンを押すだけで会話がスタートする。「バイクって２台で走っていても会話できないから孤独なものだと思ってました。インカム使うと話ができて楽しみ方が断然変わりますね」とホリグチ。

@東名高速海老名SA
集合&出発！

AM9:00

@東名高速下り線
BTネクストプロ実践！

AM10:00

@東名高速足柄SA
2手に分かれてBT TALKを実践！

ここからはBT TALKの実力を検証するために、二手に分かれて行動することに。八百山が15分早く出発することで、完全にインカムの通信圏外になる。そこで距離に関係なく会話できるBT TALKに切り替えて、ホリグチと連絡を取り合うわけだ。

PM0:30

八百山＠箱根裏街道

プリンとコーヒーを買って「道の駅すばしり」に来て！

BTTボタン
●税込価格：7560円

先行する八百山はBT TALKを使ってホリグチに、最終目的地と買い物を指示。15分遅く出発したホリグチは、それを聞いてコマンドを遂行する。トランシーバーのように「BTTボタン」を押しながら話すスタイルは、こういうコマンド遂行ゲーム!?を盛り上げてくれる。その音質はトランシーバーというより、インターカムモードと変わらない。

PM0:30

ホリグチ＠御殿場市街地

御殿場市街地のコンビニに立ち寄り、指示されたプリンとコーヒーを買うホリグチ。BT TALKはスマホ単独でも会話できるため、バイクを離れた時にでもそのまま利用できるのが便利だ。

PM1:00

八百山
＠道の駅すばしり

おっ！近づいてきてる！

目的地に先に着いた八百山は、BT TALKアプリのマップ画面でホリグチの現在地を把握。地図上でお互いの位置関係だけでなく、誰が送話状態なのかも赤と緑の色でわかる。ホリグチは事前に目的地までのルートを知らされていなかったが、この地図上の八百山がいる場所に向かって走った。

PM1:30

ホリグチ
合流＠道の駅すばしり

現地集合ツーリングにもってこい！

指示された物を買って目的地にたどり着いたホリグチ。途中、BT TALKで交信しながら走っていたのに加えて、リアルタイムにお互いの位置がわかるため、「迷うことなくたどり着けた」という。「これを使えばツーリングの集合場所までとか、解散してからも会話ができますよね」とホリグチ。そう、BT TALKはこうした現地集合ツーリングのような、大勢で分かれて走る場合にとても使えるアイテムなのだ。

使用機材

BT NEXT PRO Hi-Fi

●シングル想定価格：3万2184円
●ツイン想定価格：6万2424円

ミッドランド インカムの最高峰

Bluetoothチップを２個搭載したことで、音楽やナビ音声を聞きながら会話が可能な「ステレオブレンド」機能を実現。最大８人で話せるグループ通話機能や、ナビ音声などをグループで共有できるパブリックモードなど、使える機能満載のインカムとなっている。

使用アプリ

BT TALK

Google play　Available on the App Store

スマホがあれば距離人数無制限

通信距離やグループ通話の人数の制限なく会話できるインカム用アプリが「BT TALK」だ。インカムに接続したスマホを介して、インターネット経由で会話する。オプションのBTTボタンを使えば、ハンドルから手を離すことなく操作もできる。地図上でメンバーの位置がわかる機能もとても便利だ。

YM1806_126-127_midland.indd 126-127　2018/04/16 10:29